



東吾妻町

議会だより

第31号

平成25年11月1日

発行：東吾妻町議会



狙いを定めて 1投 2投
東地区運動会 玉入れ競技

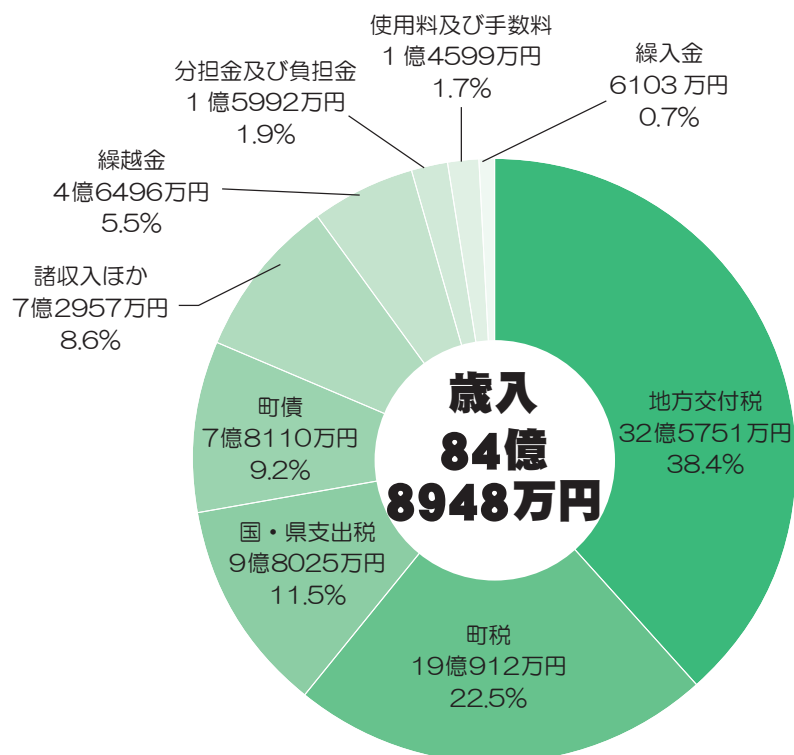
9月定例会

平成24年度の決算を認定……………P2

「原町目赤への助成継続を」など

7人が一般質問……………P8

の決算を認定



9月定例会

平成25年第3回定例会を、9月5日から19日までの15日間の日程で開催しました。今定例会では、町長から提出された平成24年度一般会計・特別会計・事業会計の決算、補正予算、条例の制定・改正など議案26件を審議し、原案のとおり可決しました。また、意見書提出の議案では、1件を可決（1件は否決）したほか、委員会提出の条例改正議案1件を可決しました。

一般質問には、7人が登壇し、町政をただしました。

※決算額は、千円以下の単位を切り捨てて表示しています。

一般会計決算

平成24年度一般会計歳入決算額は、84億8948万円で前年度対比3・3割の減。歳出決算額は、81億2878万円で前年度対比2・2割の減でした。

歳入歳出差引額は、3億6069万円。歳入歳出差引額から翌年度へ繰り越す財源を引いた実質収支額は、3億1146万円でした。

主な歳入

町税は、19億912万円で前年度対比1・8割の減。地方交付税は、32億5751万円で前年度対比1・8割の増。町債（町の借金）は、7億8110万円

◀ 整地された原町小学校の校庭



平成24年度

監査報告

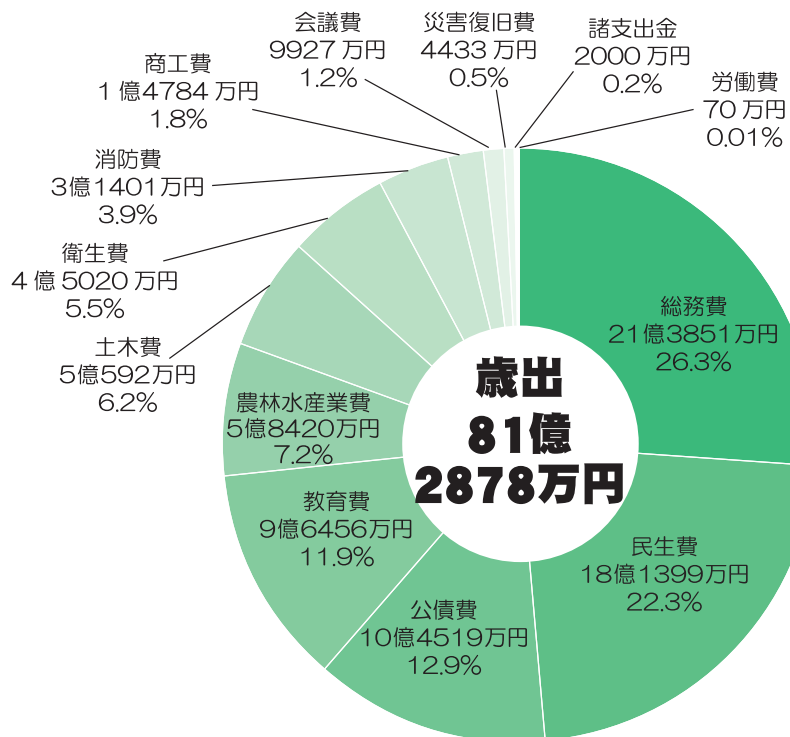
平成24年度一般会計・特別会計・事業会計の決算審査の結果、係数については正確であり、予算の執行はおおむね適正かつ効率的に執行されていること、会計経理および財産に関する事務は適正に処理されていることを確認しました。

監査委員 角田隆紀
茂木恒二

一般会計への審査意見

歳入では、自主財源の確保、住民負担の公平性を期する観点から、関係法令に基づき、滞納額、収入未済額、不能欠損額の縮減に努めていただきたい。

歳出では、各種事業の進行管理を行って、不用額の縮減に努め、財源の有効活用を図っていただきたい。



で前年度対比6・1パーセントの増でした。

主な歳出

- 庁舎建設基金積立金3億円、合併市町村振興基金積立金2億円、地域に密着した介護拠点を整備するための介護基盤緊急整備事業補助金1億4500万円、原町赤十字病院運営費助成金2805万円、あづま共同霊園造成工事296万円、企業誘致奨励金6120万円、住宅新築改修補助金761万円、原町小学校校庭整地工事1181万円、太田中学校県道拡幅補償工事2427万円などでした。



▶ 県道拡幅補償工事が行われた太田中学校前



決算書

一般会計 決算を問う

平成24年度 会計別決算額

会 計 名	歳 入 総 額	歳 出 総 額
一 般 会 計	84 億 8948 万円	81 億 2878 万円
国民健康保険 事業勘定	21 億 8965 万円	19 億 9465 万円
特別会計 施設勘定	8852 万円	8478 万円
後期高齢者医療特別会計	1 億 8995 万円	1 億 8769 万円
介護保険特別会計	12 億 9989 万円	12 億 7379 万円
特別養護老人ホームいづつ荘運営事業特別会計	2 億 2534 万円	2 億 1225 万円
地域開発事業特別会計	1 億 1089 万円	7943 万円
下水道事業特別会計	5 億 4134 万円	5 億 3721 万円
簡易水道特別会計	5767 万円	5181 万円

平成24年度 水道事業決算

	収 入	支 出
収 益 的	2 億 394 万円	1 億 8217 万円
資 本 的	1197 万円	1 億 1024 万円

※資本的収支の差は、損益勘定保留資金などで補てんしました。

健全化判断比率の報告がありました

(単位 %)

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
実質公債費比率	16.6 (25.0)	15.3 (25.0)	13.9 (25.0)
将来負担比率	120.6 (350.0)	119.2 (350.0)	99.6 (350.0)

※括弧内の数値は、早期健全化基準であり、当町はその基準を下回っています。

実質公債費比率とは…借入金（地方債）の返済額及びこれに準じる額の大きさを指標化し、資金繰りの程度を示す指標
将来負担比率とは…地方公共団体の一般会計等の借入金（地方債）や将来支払っていく可能性のある負担等の現時点での残高を指標化し、将来財政を圧迫する可能性の度合いを示す指標

給食センター 設計委託料

議員 中学校統合と給食センター建設は、全く別の事業であるのに、中学校統合費で給食センター新築工事設計委託料を中学校統

託料を支出しているが、法令に反しないか。
教育課長 給食センター新築工事と統合中学校改修工事は、一つの計画の中で進めているものであり、給食センター設計委託料を中学校統

合費で処理しても違法でないと考えます。
議員 給食センター新築工事設計委託料は、当初の予算説明や予算書への明記がなく、予算措置のないものを執行したとも考えられる

が。
教育課長 当初予算の設計委託料3000万円に含まれていた。

企業誘致奨励金

議員 今回の決算では、奨励金交付の条例制定

前から立地していた事業所が、交付の対象になっているが。
産業課長 条例、規則に経過措置の規定があり、それに基づき奨励金を支出した。

平成 24 年度特別会計・事業会計決算 (委員会審査より)

国民健康保険

事業勘定は、基金残高が1070万円と少額のままです。

加入世帯2612戸（加入率 45・38 ㊦）、被保険者 4699人（加入率 29・75 ㊦）でした。

国保税の収入済額は4億705万円（収納率 86・0 ㊦）。不能欠損額は前年度より減少しましたが、不能欠損額と収入未済額を合わせて6625万円となり、徴収強化に努力するよう強く要望しました。

また、特定健診の受診率が43・44 ㊦と低下しているので、受診率を上げるよう要望しました。

施設勘定（国保診療所）は、実質収支額373万円。診療収入は7816万円で前年度とほぼ同額でした。

東地区の高齢者などを対象とした健康教室に、医師が講師として年間4回参加したとの報告がありました。

今後も町民の健康維持と、地域に密着した医療活動を進めるよう要請しました。

後期高齢者医療

被保険者は3027人です。

保険料の収入済額1億2048万円、収入未済額38万円でした。

介護保険

実質収支額は2610万円です。

介護給付費準備基金は、998万円を取り崩し、年度末残高5709万円となりました。

介護保険料の当町の今年度の基準額は、平成 24 年度より3年ごとの改定の第5期介護保険事業計画により、年額4万4700円、前年度比 29・94 ㊦増額されました。

また、24 年度に整備された小規模特別養護老人ホームにより、25 年度は保険給付費が増額になるとのことでした。

特別養護老人ホームいわびつ荘運営事業

実質収支額は1308万円。一般会計からの繰入金 が2511万円ありました。

設備品として機械浴槽、コピー機などを購入しまし

た。

平成 26 年度には、運営が指定管理者となり、特別会計は廃止される予定です。

地域開発事業

実質収支額は37万円。年度末基金残高は1100万円となりました。

住宅団地の未販売区画の早期売却や、支出の抑制に努力することを求めました。

下水道事業

実質収支額は 4 1 3 万円。基金から1219万円、一般会計から1億6810万円を繰り入れての運営となりました。

抜本的に歳入、歳出を見直すための改善策が示されることに期待します。



▲公共下水道 吾妻浄化センター

簡易水道

実質収支額は585万円。一般会計から725万円を繰り入れて、運営を維持する状況でした。

適正運営のための改善策が示されることに期待します。

水道事業

給水戸数4480戸、給水人口1万843人で、共に減少しています。

年度末の未処理欠損金は192万円と大幅に減りましたが、営業外収益として、一般会計から2000万円の補助金を受けての決算でした。

1立方メートル当たり、供給単価129円37銭に対し、給水原価が140円03銭かかっています。

また、資本的支出の60 ㊦近くが企業債の償還金となっており、水道事業の経営改善が求められます。

平成25年度 補正予算一覧

会 計 名		補 正 額	予算総額
一 般 会 計		1億1396万円	84億7966万円
国民健康保険	事業勘定	1億6606万円	22億8360万円
特別会計	施設勘定	273万円	9782万円
介護保険特別会計		379万円	14億5448万円
下水道事業特別会計		1605万円	6億 718万円
簡易水道特別会計		1201万円	7313万円

**一般会計補正予算
84億7966万2千円に**

一般会計補正予算は、歳入歳出を1億1396万6千円追加し、総額84億7966万2千円としました。歳出の主な項目は、下水道費、教育振興費、中学校施設整備費で増額。財源として、国庫補助金、繰越金などを充てています。

一般会計補正予算（主なもの）

下水道事業特別会計繰出金（追加）
小中学校情報教育機器整備費（追加）
統合中学校施設整備事業（追加）

6610万円
3108万円
1598万円

烏帽子山植林組合議員を選出

烏帽子山植林組合議員の任期満了に伴う選挙で、町議会から橋爪英夫議員、佐藤聡一議員、樹下啓示議員、山田信行議員、轟徳三議員、茂木恒二議員、

金沢敏議員、青柳はるみ議員、浦野政衛議員、一場明夫議員、菅谷光重議員を選出しました。任期は平成25年12月1日からとなります。



◀ 改修工事が行われている統合中学校（現原町中学校）

いわびつ荘の 指定管理者を決定

特別養護老人ホームいわびつ荘の指定管理者を決定しました。

指定管理者＝社会福祉法人春風会（中之条町）
理事長 南波和憲

指定期間＝平成26年4月1日から31年3月31日まで

子ども・子育て会議 条例

子ども・子育て支援事業計画などを審議するための機関を設置します。

収入印紙等購買基金 条例

パスポート発券業務に伴い必要となる収入印紙などを販売するための基金です。

字区域の変更

町営細谷土地改良事業（三島地内）に伴い、字を変更します。

町道路線の廃止

厚田く川戸地内1件
萩生地内1件

職員勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

部改正

■特別職の職員で非常勤のもの及び各種委員会の委員の報酬及び報酬費用弁償に関する条例の一部改正

■町税条例の一部改正

■過疎対策のための町税（固定資産税）の課税の特例に関する条例の一部改正

国民健康保険税条例の一部改正

■小口資金融資促進条例の一部改正

■吾妻広域町村圏振興整備組合規約の変更に
関する協議

■議会基本条例の一部改正

みなさんからの請願・陳情

今定例会では、2件

の請願、3件の陳情を
審査しました。

審査の結果が本会議

で報告され、次のよう
に決まりました。（提

出者名は敬称略）

採択となりました

（総務建設常任委員会

で審査）

◎地元小規模零細商業
者への東吾妻町公共施

設の発注拡大に関する

陳情

提出者 東吾妻町公

共施設等協力会 代表

者 茂木健司ほか3名

採択となりました

（総務建設常任委員会

で審査）

◎「森林吸収源対策及

び地球温暖化対策に関

する地方の財源確保の
ための意見書採択」に

関する陳情

提出者 全国森林環

境税創設促進議員連盟

会長 板垣一徳

不採択となりました

（総務建設常任委員会

で審査）

◎国に対し「消費税増

税中止を求める意見書

の提出を求める請願書
提出者 吾妻民主商
工会 永井昭高

で審査）

◎子ども・子育て支援

新制度の導入に関する

意見書提出を求める請

願書

提出者 群馬県保育

問題連絡会 会長 平

石美奈

紹介議員 金澤敏

継続審査となりました

（総務建設常任委員会
で審査）

紹介議員 金澤敏
継続審査となりました
（文教厚生常任委員会

◎林業の活性化に対す
る陳情書
提出者 あがつま森

林育成事業協同組合
理事長 入江勝郎

意見書を提出

議会では、次の意見書を提出
しました。

◎「森林吸収源対策及び地球温
暖化対策に関する地方の財源確
保」のための意見書

【提出先】内閣総理大臣、財務
大臣、総務大臣、農林水産大臣、
環境大臣、経済産業大臣、衆議
院議長、参議院議長

3法人（出資法人等）の平成24年度の 経営状況報告がありました

駅北土地区画整理組合

事業開始後17年が経過しました。

平成24年度は、計画された工事がほぼ完成する中で、
組合として最後（25年度末に解散の方向）の大きな仕事
である換地処分に向けた事業を進めてきました。

歳入総額は9609万円、歳出総額は9564万円と
なり、次年度への繰越金は45万円でした。

土地開発公社

田野原団地2区画、舞台団地2区画の残地販売に努め
てきましたが、売却には至りませんでした。

平成24年度は、収益的収支で8万円の損失、資本的収
支は、収入、支出ともに6000万円となり、借入金の
借り換えのみでした。

現在、公社解散に向けた事務（県知事による解散許可
手続き）を進めています。

（株）岩櫃ふれあい公社

ホテル（ユニファーいわびつ）経営に移行し、11期目
となりました。

平成24年度の集客実績は、宿泊が1万2540人、日
帰りが1677人でした。

事業収支関係では、売上高が1億4156万円のほか、
群馬県が除染対策地域となったことに伴う、観光業者へ
の損害賠償4095万円があり、純利益は1756万円、
当期末の未処理損失は4614万円となりました。

前期に比べ黒字額を増やしましたが、これは東京電力
からの損害賠償金によるもので、未処理損失を考えると、
まだまだ厳しい経営環境にあり、社の経営体制、経営改
善策の検討を引き続き行います。



◀ユニファーいわびつ

一般質問

町政を問う



須崎幸一議員

Q 2年間の町政懇談会の実施結果をみて、

今後どのようにするか。

A 参加者が昨年と同じで少なかった。今後

Q 萩生地区の地域活

答

各種公共的団体との意見交換会を検討

町民参加の町づくりの具体策は何か

Q 原町日赤の経営状況についてどのような

A 認識か。厳しい経営状況で



▲原町赤十字病院

あると受け止めている。病院の説明によると平成24年度の赤字要因は、患者減で、外来1・6割、入院3・9割の減少と聞いている。

Q 地域の信頼回復に向かつて経営改善に力を注いでいる。救急車の受入率は昨年72割に対し、本年87割と15割改善がされている。この努力に対し、従来行われてきた施設等整備補助金について、本年

Q 病气やけがの予防が町民生活の向上や国保運営にとって大切と思うが、どのような方策をとっているか。

答 慎重に対応していく

原町日赤への助成継続を



根津光儀議員

度も行うべきではないか。

A 日赤運営協議会で病院側の話も聞いて対応を決めたい。

『大戸診療所「地域再生大賞」ノミネット』

『医療費抑制のために』

『9月補正予算で認

めてもらった、国保デ

ーターベースシステムを

保健センターに導入し

て、保健業務に役立て

、国保や介護保険の運

営改善にも役立てたい。

運営に対して助成は

行っておらず、今後も

考えていない。町の保

健事業の推進に当たっ

ては、地元医師会に協

力を仰いでおり、大戸

診療所にも協力をいた

だいている。

『医療費抑制のために』

『病气やけがの予防

が町民生活の向上や国

保運営にとって大切と

思うが、どのような方

策をとっているか。

A 9月補正予算で認

めてもらった、国保デ

ーターベースシステムを

保健センターに導入し

性化の取り組みについては。

A 企画課を窓口として、施設完成後の維持管理などについて、地域住民の活動と協力が得られないか意見交換をしていきたい。

Q 三島地区のふれあい公園や天狗の湯管理運営を核とする地域づくりについては。

A ふれあい公園全体を道の駅に登録する方向で検討している。

管理運営については、町の直営ではなく、指定管理者制度を取り入りたい。

また、町のハッ場ダム対策協議会下流域地域振興部会では、地元だけでなく、町全体を視野に入れて組織づくりを目指したいと考えている。町では組織立ち上げに際し、経営や法的対応などの資料を提供するとともに、組織化に向けて県の機関へ

の調査・調整を行う。

内野山田川線側、上野に至らず終わった経緯がある。現状では難しい。

Q 『道路整備の推進は』新巻地区と泉沢地区を結ぶ巡回バスなどが通行できるよう、町道中井・東村線の道路改良の可能性は。

A 地域の要望、地権者の了解などがカギとなる。

Q 原町東上野の町有地を有効利用するためアクセス道路として既存道路の整備を。

▼町道中井・東村線



町村合併以降の不均一行政の是正は 答 地域審議会や町民の 理解を得ながら進めていく



一場明夫議員

Q いまだ行政の不均一が見られるのは、是

正に向けて、町が努力してこなかったのではないのか。

A 積み残し部分については、できるものか

ら早急に対応していきたい。

Q 区長あての配布文書を、職員2人で配っているが、1人でよいのではないか。

A 今後、担当課と十

分に検討していく。

Q 病院が進出場所を探しているという話を聞くが、町の対応は。

A 当町としては、必要な資料などは提供しているが、具体的な話

はないので、注意深く見守っていきたい。

Q 『企業立地の促進を』町では、企業立地促進条例を制定しているが、企業立地が具現化されていない。これ

は、専門に取り組む部署がないからと思われる。これでは、若者が定住できるための住環境や雇用の場の確保など、条件整備ができないと思うが。

A 課の設置については、組織横断的な行政運営システムの充実に図り、迅速・柔軟・機動性を備えた組織を目指すし、行政改革推進本部の中で検討している。

次期集中改革プランの策定時期は

答 平成26年度中の策定を目指す

Q 第2次集中改革プランは、平成25年度で

終了するが、進ちよく状況をどのように捉えているのか。

また、計画どおり進められなかった事項についての見解は。

A これまでの行政改革において未実施のものや、継続して改革を進めていくものに加え、町政を取り巻く環境の

変化を捉えて、目標や重点事項を掲げ、目標の数値化や具体的な指標を用いて、各事業の進行管理を行政改革推進本部が中心となつて全課体制で取り組んでいる。

進ちよく状況は、議会に報告するとともに、ホームページで公表し、

変化を捉えて、目標や重点事項を掲げ、目標の数値化や具体的な指標を用いて、各事業の進行管理を行政改革推進本部が中心となつて全課体制で取り組んでいる。

各事業の推進を図っている。

Q 第3次集中改革プランの策定を進めていると思うが、いつごろ案を示すのか。

今後は、どの項目を重点として進めていくのか。第3次集中改革プランの目指す方向性は、どのようなものか。

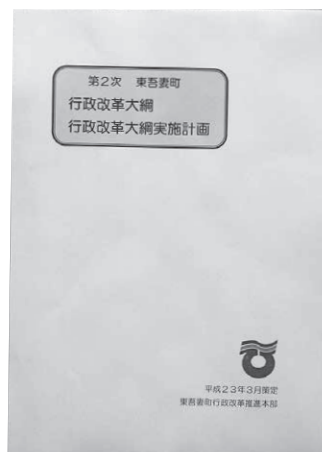
A 次期計画は、現行の行政改革大綱での目標達成状況や、3年間の実績を検証した上で、



金澤敏議員

26年度中の策定を目指す。その際には、町民の意見を広く求める工夫も検討する。

次期計画の目指す方向性は、現行の目標や重点項目を踏襲しながらまとめるものと考え



佐藤総一議員

Q 東吾妻中学校の校舎充実について、元臨時交付金を使って、エレベーターホール横か、技術科室の上に各学年の食堂兼多目的教

統合校舎に

食堂兼多目的教室を作っては

答 現段階での

設計の大幅な変更は考えていない

室を作っては。

これを普通教室のそばに作ることで、授業の多様化も含め、利用

しやすくなると思うが。

A 現段階での変更は考えていない。元臨時交付金を使

つての工事は、大きな

変更であるので、学校現場や教育委員会と協議、検討してみたい。

『中学校校舎跡地の利用計画は』

Q 坂上地区で言えば小学校の校舎は老朽化している。坂上中の校舎を小学校に、坂上小跡は一部をこども園、その他は診療所などと連携した安価なサービ

▼坂上中学校



幼児、小学生とのコミュニケーション形成や、見守りに有効では。

また、杉並区が南伊豆町に特別養護老人ホームを作る話もあるので、杉並区と連携した老人施設も視野に入れては。坂上中の利用は、階段の改修などの必要性もあり、今後検討して

いく。
坂上小跡をこども園や町営住宅へ利用することは、地域の声を聞きながら総合的に検討する。

アンケートによる小学校統合の町民意向調査をお願いしたいが。

議で検討し、平成27年度から5年間の計画で進めて行こうと考えている。

『幼保一体化は』

『小学校の統合は』
『Q』 小学校はギリギリまで地域に残したいと思うているが、中学校統合が進むこの時点で、

『A』 子ども・子育て会

子ども用救急キット「子ども安心カードを」 答 安心カードについて研究、検討していく

『Q』 健康管理カードは、

緊急の対応を現場の

つとなる。

他市で起きた給食時の死亡事故は、どこの

『A』 健康管理カードで

献立表は、紙ベースで配布しているが、保護者からの要望があったり、必要がある場合は検討していく。



青柳はるみ議員

学校に保管していると
思うが、安心カードは
緊急時に救急隊員に提
供するもの。特に食物
アレルギーなど一刻を
争うときに必要。消防
は日常的に搬送スピー
ドを上げるため全力で
当たっている。

教職員だけに求めるの
ではなく、教育委員会
や校長、自治体が危機
感を強め、取り組むべ
き。保護者は学校統合
により家から遠距離に
なり心配がある。町が
一人を大切にする姿勢
を示すことで安心の一

が、携帯で献立表が見
去食が必要な子に対し、
献立表は必要なものだ
が、携帯で献立表が見

られるようホームページに載せてもらいたい。
『A』 健康管理カードで
の運用をしており、当
面このカードをもとに
対応していく。今後、
安心カードについては
研究していきたい。

食物アレルギーの子
に対しては、養護教諭、
栄養士、担任が情報の
管理をし、毎月対応表
を作成し、保護者に確
認を取るようになしてい
る。



委員会の動き

ハッ場ダム対策 特別委員会

9月12日の委員会では、国・県・町の事業計画と進捗よく状況の説明がありました。

国の関係では、大柏木地区の骨材プラント造成工事、盛土造成地

線が着手されました。また、来年度予算は、今年度とほぼ同額の97億円が出されているとのこと。

県の関係では、JR吾妻線の145号ハッ場バイパス本線振り替え工事が始まります。

土地改良事業については、三西地区の事業が平成25年度ですべて終わり、松谷地区では工事が始まりました。な

お、川原畑大戸線道路改良事業は、25年度完了予定との説明がありました。

町の事業は、便益施設、十二沢パーキングトイレの工事が始まっています。ふれあい公園は、25年度で完成となります。町では、ふれあい公園5・2鈔を

26年5月、道の駅として申請し、8月の登録を目指した工程表を

表しました。委員からは、JR吾妻線跡地や吾妻溪谷について、しっかりと計画を立て、観光開発につなげていかう意見や、水力発電計画の有無、水力発電施設への要望などが出されました。



十二沢パーキング
トイレ新築工事

一般質問

町政を問う



菅谷光重議員

これから町政運営は 活力ある町づくりに力を尽くす

町長就任以来、各年度の予算は、総合計画の基本理念である

「人のためのまち」を着実に推進することを踏まえての編成とこの

平成24年第1回定例会の町政一般質問では、

子どもたちが、この町に住んでいることを誇りに思えるような町づくり、こうした基礎を

まず作り上げたいと明言した。

これまでの町政運営や執行、町づくりの基礎に関して、今どのように考えているか。併

せて、任期満了にあたっての意思は。

町の大きな課題である行財政改革は、就任当初から町長給与などを削減し、改革への姿勢を示して、執行部と職員が一体となつて取り組んできた。

22年度に事務事業評

価委員会を設置し、経費と事業の見直しを行い、効果を上げている。

これまで取り組んできた町づくりを進め、それぞれが実を結び、成熟することで、東吾妻町が子どもたちにとつて誇りに思える、若い人たちが暮らしたい町

になっていくと考える。今、その基礎ができつつあると思う。

各施策が根を張り、枝を広げ、大木となることが、夢ある子どもたちのために、豊かな自然と歴史、文化を大切に、活力ある東吾妻町をつくっていくことであると考える。

やり残した仕事もあるので、4月以降も力を尽くしていきたい。

文教厚生 常任委員会

7月25日、委員会を開き、保育所、幼稚園の現状について、所管事務調査を行いました。委員会開催の前段と

岩島保育所



なる懇談会では、今後の当町の幼保施設の統合を含めた子ども・子育て環境をどう進めていくのかについて、幼稚園長、保育所長、担当課長を交えて意見交換。保育所の老朽化が進む中で、当町の幼保一体化も見据えた施設の見直しを考える機会となりました。

委員会は、その懇談会の内容も踏まえて議論。国の子ども・子育て支援制度も踏まえた中で、当町のこども園のあり方を、委員会としてスピード感を持って調査、研究していくことになりました。

吾妻郡民体育祭 秋空にさわやかな汗

第52回吾妻郡民体育祭が9月29日、中条町総合グラウンドを主会場に開催されました。

議員らは、玉入れ、ターゲットバードゴルフに参加し、さわやかな汗を流しました。



第4回臨時会 平成25年8月1日

消防自動車購入の契約締結を決定

町消防団第6分団第1部（箱島）に、小型ポンプ積載自動車を配備します。

契約金額＝1249万5000円

契約相手＝温井自動車工業株式会社（高崎市）

代表取締役 温井捷雄

公園便益施設新築工事の契約締結を決定

あがつまふれあい公園整備事業の一環として、売店などを備えた便益施設を新築（三島）します。

工期は、平成25年12月27日まで。

契約金額＝5932万5000円

契約相手＝池原工業株式会社 代表取締役 池原純

▼便益施設の新築工事が進むふれあい公園内



中学生が議会を傍聴

東中学校の3年生14人が9月19日、議場に訪れ、本会議を傍聴しました。

生徒たちは、総合学習（テーマⅡ魅力ある地域づくりのために）の一環で会議を傍聴。議場内で繰り広げられる質疑応答に、真剣に耳を傾けていました。

生徒の感想文の一部を掲載します。

「東吾妻町議会の傍聴をとおして学んだこと」

剣持 闘斗さん

今回、議会の傍聴を

させていただき、自分たちでは真似することのできない議題での話し合いを行っており、とてもすごいなと、ただ、ただ圧倒されていました。

中学校の統合問題や校舎跡地の利用など、自分がどんなに考えても及ばないことばかりで驚いたし、自分にとって身近な問題でもあったので、もっと色々な

ことに興味を持たなければならぬと思いました。

そのためには、いろいろな情報を積極的に収集・整理し、それぞれのことを真剣に考え、自分の意見をもつ習慣を身に付けることが求められると思います。

このような習慣を当たり前のこととして生活できることが、大人であることの条件なのかなとも思いました。

私も、中学校3年生として遠からず大人の

仲間入りをしていきたいです。今回の傍聴をとおしてそのことに気づくことができたのは、大きな収穫だったと思います。

上原 美美乃さん

初めて町議会の議場に足を踏み入れて思ったことは、「この場で

私たちの住む町、東吾妻町の政治が行われているんだ」ということです。そして、話し合いの場面では、平和な町だと思っていた東吾妻町にも、解決しなければならぬ課題が少なからずあるということを知りました。

議論の内容は、私を驚かせるものばかりでした。まず私が驚いたのは、町長さんが一人だけで議員さんの質問に答えていたことです。

私は議場内の人々が、一つの意見に対して自由に考えを出し合っ

一つのことを解決しているのだろうと思っていました。

次に驚いたことは、一つの議題に対して費やす時間が長いだけでなく、内容が濃く、思いの詰まった時間でした。

私は、傍聴をとお

て議会の内部を少し知ることができました。これからは、私たちも選挙をとおして東吾妻町の政治に参加することになります。その時は、今回傍聴した議会を思い出し、積極的な態度で参加したいと思います。



議会を傍聴してみませんか

次回の定例会は12月6日開会予定

議会の会議は、特別な場合を除き公開されています。

傍聴の手続きは、役場3階の議会事務局で受け付けています。

所定の用紙に住所、氏名、年齢の記入をお願いします。

議 案 な の 審 議 結 果

議案名等	議員名簿	出席者数	投票数	賛成	反対	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	議決日
							橋爪英夫	佐藤聡一	根津光儀	樹下啓示	山田信行	水出英治	轟徳三	茂木恒二	金澤敏	青柳はるみ	須崎幸一	浦野政衛	一場明夫	菅谷光重	
第4回 臨時会 平成25年8月1日																					
物品購入契約の締結		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	8/1
工事請負契約の締結		14	-	11	2	可	-	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	8/1
第3回 定例会 平成25年9月5日～19日																					
平成24年度一般会計歳入歳出決算認定		14	-	8	5	可	-	○	○	○	×	○	×	×	×	○	○	○	×	○	9/18
平成24年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/18
平成24年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/18
平成24年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/18
平成24年度特別養護老人ホームいわびつ荘運営事業特別会計歳入歳出決算認定		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/18
平成24年度地域開発事業特別会計歳入歳出決算認定		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/18
平成24年度下水道事業特別会計歳入歳出決算認定		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/18
平成24年度簡易水道特別会計歳入歳出決算認定		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/18
平成24年度水道事業決算認定		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/18
職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正		14	-	11	2	可	-	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	9/18	
子ども・子育て会議条例		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/18
特別職の職員で非常勤のもの及び各種委員会の委員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/18
税条例の一部改正		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/18
過疎対策のための町税(固定資産税)の課税の特例に関する条例の一部改正		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/18
国民健康保険税条例の一部改正		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/18
収入印紙等購買基金条例		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/18
小口資金融資促進条例の一部改正		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/18
平成25年度一般会計補正予算 第3号		14	-	12	1	可	-	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	9/18	
平成25年度国民健康保険特別会計補正予 第2号		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/18
平成25年度介護保険特別会計補正予算 第1号		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/18
平成25年度東吾妻町下水道事業特別会計補正予算 第2号		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/18
平成25年度東吾妻町簡易水道特別会計補正予算 第2号		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/18
特別養護老人ホームいわびつ荘の指定管理者の指定		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/18
字区域の変更		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/6
町道路線の廃止		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/6
吾妻広域町村圏振興整備組合理約の変更に関する協議		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/6
国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める請願書		14	-	1	12	否	-	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	9/18
地元小規模零細事業者への東吾妻町公共施設の発注拡大に関する陳情		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/18
「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書採択」に関する陳情		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/18
「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保」のための意見書		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/18
道州制導入に断固反対する意見書		14	-	6	7	否	-	○	○	○	×	○	×	×	×	×	○	×	×	○	9/18
議会基本条例の一部改正		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/18

可…可決、否…否決、○…賛成、×…反対、欠…欠席、退…退席

議長は採決に加わりませんので「-」で表示しています。(議長 1 番)

※…地方自治法第 117 条により、本人除斥。

まちの声

地域の活性化

三枝 寿子さん（奥田）

「ヒュールルルルー ドッカア〜ン！」
「うお〜！」。

奥田地区2013年の幕開けは、日本一小さい花火大会で始まった。

この地区はご存じのとおり、全戸数約60といった東吾妻町内では大変小さな地区。ここで平成19年2月、『おーくだけの会』という少年の心を持った男性の会が立ち上がった。最初は、1000円の会費で、公民館での一杯を楽しみに集まっているのだと思っていましたが、ただの“のんべい”ではなかった。

まずは、平成19年大晦日から奥田地区に唯一ある白鳥神社の初詣を賑わそうと『初詣を賑やかにする会』を企画。大晦日の午後から集まり、甘酒・焼き鳥・焼きまんじゅう・おでんの仕込みから会場づくりに精を出し、子ども向けのくじなども準備して参拝者に無料で振る舞った。最初は塩っぱい甘酒もあったが、本職顔負けの

出来栄えだった。その資金は、会員が一人一人訪問して寄付を募った。それまで20〜30人程度の参拝者だったが、奥田地区以外からも訪れるようになり、平成24年正月は100人ほどの参拝者で大盛況となった。

ところが、これだけでは終わらなかった。昨年の地区運動会の慰労会で、『おーくだけの会』の方から「カウントダウン花火はどうだろう？」と聞かれた。酔った勢い？資金面は？安全面は？といった私の心配をよそに、日を追うごとに話は現実化されていった。資金面では、すでにこれまでの寄付金の残金を貯めて必要最低限の目標金額に達したが、さらに近隣地区にチラシを配布し寄付を呼びかけた。安全面では、消防署や花火師などと念入りに打合せがされた。ここまでやってくれば、住民として絶対に盛り上げるしかありません。そして平成25年の幕開けは、言うまでも無く一発目の花火とともに参拝者の心が一つになった。

住民の心を一つにしてくれる花火大会。小さな力でもこれだけのことができることを証明してくれた花火大会。地元に根ざした活動が住民の心を一つにし、地域を活性化してくれていると実感した。



編集後記

9月16日の台風18号の被害により、東総合運動場のグラウンドが冠水したとのことで、現場を見てきましたが、京都等でも大被害、今年には「経験のない大雨」による異常気象が特に多くなったと感じます。9月定例会は、24年度の決算議会で肅々と審議されました。また、長年の懸案であった、いわびつ荘の指定管理者決定や、東中学校3年生の本会議傍聴という新鮮な出来事もありました。

6月議会から広報委員になり、わかりやすい紙面づくりに大変苦労しているところです。今後とも頑張っていきたいと思います。

広報委員 佐藤聡一